

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

(A) 生産管理	製造分野におけるDX推進
管理手法	

コースのねらい	生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革(DX)を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1 製造業におけるDXの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜDXが必要か ・DXの3つのステップ ・データ利活用に向けて【演習】 ・ITが無くてもできるDX ・製造業におけるDXのステップ別ポイント 	6.0
	2 DX実現事例	<ul style="list-style-type: none"> ・製造プロセス分析/QC工程表と連動したIoT導入事例 ・検査のペーパーレスとデータ利活用による品質管理への展開事例 ・拠点間QCD情報のリモート入手・展開マネジメント事例 ・TPM活動と連動した設備稼働率からの改善事例 ・サプライヤーとの設計・製造データ連携事例 ・生成AIの効果的活用事例 ・生産計画変更情報の変化点管理(見える化事例) ・管理部門の業務効率化、ペーパーレス事例 	
	3 DX推進の目標設定と解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス目標とDX推進目標の連動～And志向 ・業務プロセス分析推進人材、データ分析推進人材等の育成とプログラム作成 ・IoT、センサー、ICTの導入計画とROIの検討 	
	4 DX推進の計画と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期DX計画の立案と予算確保 ・フロントローディング型実行計画の立案 ・人材ロードマップと教育計画の立案【演習】 	

カリキュラム作成のポイント
製造DX推進に向けて、様々な業種の他社事例もふまえながら、DXで目指す目標を確認する。また、自社でDX推進するための自社業務の分析、革新アプローチ、実施課題を議論し、実践的な研修とする。

講師から一言 (リーフレット掲載用 50~70字程度)
本講座ではDXの考え方、様々な他社事例を学び、参加者の皆様とのケーススタディも実施しながら、楽しくDXを学んでいきたいと思ひます。